

1、題材名 「わたしのつうがくろ」

2、題材について

(1) 題材観

本単元では、学習指導要領の次の内容に位置づけられている。

(1) 学校の施設の様子及び先生などの学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。

今まで1年生は「ともだち たくさんつくろう」や「わたしのがっこうどんなところ」の学習で、2年生と一緒に学校探検をしたり、自分たちで興味を持ったところをもう一度詳しく見学したり、働いている先生方と話をしたり握手をしたりしてきた。また、校庭や校舎の施設や生き物、植物にも関心を持って積極的にかかわってきた。そして、見つけたことを絵に描いたり、自分の好きな場所として発表したりしてきた。

本単元では、通学路を見つめる活動をし、通学路の様子やその安全を守っている人々に関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。そしてルールを守って公園などの公共施設・公共物を利用することができるようにすることがねらいである。普段何気なく通っている通学路を丁寧に見つめさせることにより、今まで気づかなかった様々な自然、人、社会とのかかわりを通して、通学路は自分達の生活の場であるという意識を持たせることができる。通学路にある安全を守る施設や人々に視点を当てて、学習を進めていく。これらの施設や人々は、子ども達にとって当たり前で、なぜそこにあるのかを考えたり、自分から知ろうとしたりしていない。この単元を通して、なぜ今安全に登下校ができているのかを考えさせ、地域の人々が自分達の生活に関わっていることに気づくことにより、布佐を大切にすること心情豊かな子どもが育つと考える。

(2) 児童の実態 (1年 男子21名 女子26名 計47名)

1年生は布佐小学校の生活に慣れて、毎日元気いっぱい活動している。2年生と一緒に学校探検をしたり、校外学習で遊んだりして仲よくしてもらっている。また、6年生には入学してから休み時間のたびに遊んでもらったり、掃除の仕方を教えてもらったり、給食の片づけをお手伝いしてもらったりしながら、楽しく生活している。6月になってようやく一人で登下校することに自信を持ってきたようである。

1年生はほぼ全員がふさのまちが好きである。「友達がいるから。」「遊べるところがあるから。」「学校で楽しいことがいっぱいあるから。」「勉強ができるから。」を理由として挙げている。また、近所や地域の人にあいさつを約半分の子ども達がしている。登下校では半数の子ども達がいつも犬を連れて散歩している人に会っている。犬の名前まで知っている子が多い。

これらのことから、1年生は友達や学校が好きだから、ふさのまちが好きであること。あいさつは約半数がまだできていないこと。登下校の際には毎日決まって会う人がいることがわかった。犬に散歩をしている人は自分達の登下校を見守っているということを「わたしのつうがくろ」の学習を通して気づかせていきたい。

(3) 指導にあたって

普段何気なく見ている通学路にあるものの中から、安全に関する「もの」や「人」について考えさせる。道路標識や横断歩道、信号機、交通指導の人、安全管理員さんなどが出てくると思われる。通学路にあるものを紹介していく中で、共通しているもの、人について考えさせていく。本時は特に朝の登校指導をしている方々を取り上げ、どこで、なぜ安全に関係あるのかなど、子ども達の言葉で発表させ、気づきを深めていきたい。また、交通指導をしてくださっている地域の方から直接思いを聞くことにより、自分達が安全に登下校できるようにたくさんの人に見守られていることを実感させたい。たくさんの方に見守られているという安心感だけで終わらせず、危険なことがあるからこそ多くの人が見守り、協力していること、だからこそ自分達一人一人が自覚を持って安全に登下校をしていかなければならないことを気づかせていきたい。

3、題材のねらい

- ・通学路の様子や、その安全を守っている人々などに関心をもち、安全に登下校ができるようにする。

4、活動計画（9時間扱い）

	時間	学習活動と内容
つかむ	1	通学路で見つけたものを発表する
	2	通学路を歩いてみる。
活動する	1	見つけたものをカードに描いて紹介する。
	1	自分の通学路で見つけたものを発表する。
まとめる	1	通学路の安全について考える。 本時
	1	安全に登下校について考える。
広める	2	安全を守って公園へ行き、ルールを守って公園で遊ぶ。

5、本時の指導

(1) 目標

- ・通学路の安全にかかわるものについて考え、多くの施設や人に守られていることに気付くことができる。

(2) 評価基準

- ・通学路の様子やその安全を守っている人々に関心を持ち、安全に登下校をしようとしている。(関心・意欲)

・自分達の登下校振り返り、自分たちの安全を守ってくれる人々に感謝している。

(思考・表現)

・通学路の様子や危険な箇所、安全を守っている施設や人々に気付いている。(気付き)

(3) 展開

時配	学習活動と内容	指導・支援 *評価
8	1・前時の学習を振り返り、安全にかかわるものについて考える。 ・信号機 ・横断歩道 ・ガードレール ・交通標識 ・子ども 110 番 2. 本時の課題を確認する。	・通学路を探検して、気づいた安全を守るための施設や人々のこと思い出させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分達の登下校の様子を振り返ってみよう </div>		
10	3. 朝の登校の様子の写真を見せる。 ・なぜ交通指導をしている人たちがいるのか考えさせる。 ・いつ ・どんなひとが ・なんのために	・交通指導をしている写真をテレビで写す。 ・地域の方が子ども達の安全を願って、交通指導をしていることを気づかせる。
10	4. 交通指導をしてくださっている方の話を聞く。	・どんな思いで立っておられるのか。 ・どんな願いから交通指導を始めたのか。 ・自分達はどんなことに気を付けて登下校したらよいのかを考えさせる
15	5. 話を聞いた感想を発表する。	・自分達は多くの人に見守られていることを知り、感謝の気持ちを表現できるようにさせる。 ・他にも自分達が安全に登下校できるように配慮している施設や人が多くいることに気づかせる。 ・自分達にできることを具体的に考えさせる。 ・交通指導の方や安全監理員さんなどに見守られているから安心なのではなく、自分達自身が安全に気を付けて登

2	6、本時のまとめをする。	<p>下校しなければならないことに気づかせる。</p> <p>*自分達の登下校振り返り、自分たちの安全を守ってくれる人々に感謝している。(思考・表現)</p> <p>*通学路の様子や危険な箇所、安全を守っている施設や人々に気付いている。(気付き)</p> <p>*通学路の様子やその安全を守っている人々に関心を持ち、安全な登下校をしようとしている。(関心・意欲)</p> <p>・次時ではどんなことに気を付けて登下校したらよいかを考えることを知らせる。</p>
---	--------------	--

講師の指導

- ①基本的な学習のルールが身に付いている。
 - ・発表の仕方・聞き方
 - ・学習中の姿勢・手の挙げ方
- ②交通指導員さんの登場
 - ・安全グッズの紹介
 - 交通安全だけでなく火災へのひろがり
 - ・全員が「ほんもの」から学ぶ体験
- ③反応がよい
 - ・先生の発問に対して、しっかりと思考しつぶやいたり、発表したりすることができた。
 - ・一人ひとりの活力がある。(日々、認められている)
- ④学年の雰囲気よさ
 - ・先生と子ども達の間関係がよい。(信頼の絆)
- ⑤トントンと進む授業展開
 - ・「見る」「考える」「話す・聞く」「書く」「発表する」
 - 集中できる展開の工夫
 - 子ども達に論理性が芽生えます。
- ⑥安全の掲示物
 - ・全員の作品が掲示されている
 - 子ども達の喜び
 - ・前時との比較
 - 思考がスムーズになる
 - ・子ども達が生きている学年経営

成果と課題

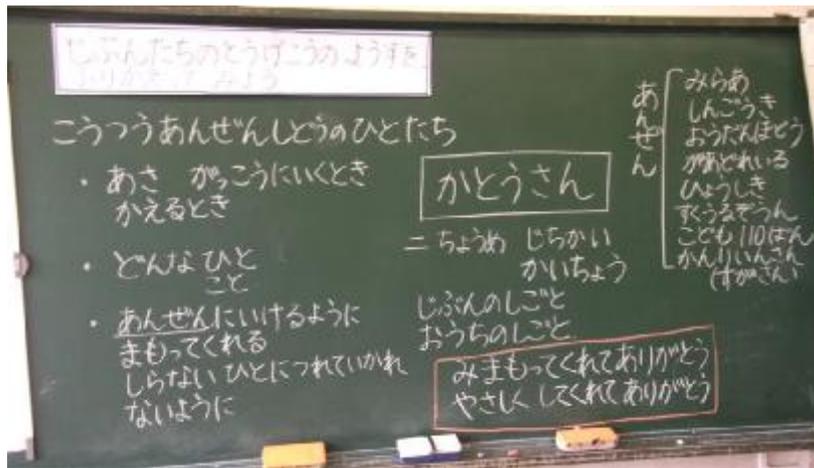
成果

- ・地域の方がゲストに来て下さり、興味を持って話を聞くことができた。
- ・地域の方と親しくなり、進んで挨拶ができるようになった。
- ・通学路にあるいろいろな施設を、興味深く観察したり役割について考えたりすることができた。
- ・自分達が安全に登校したり下校したりできるように、地域の方々が見守ってくれてことに気付くことができた。
- ・通学路にある安全のための施設を、一人ひとりがたくさん見付けることができた。
- ・自分の考えを進んで発表することができた。
- ・体験で来ていた子どもがいたため、アメリカの国の様子と比べて考えることができた。

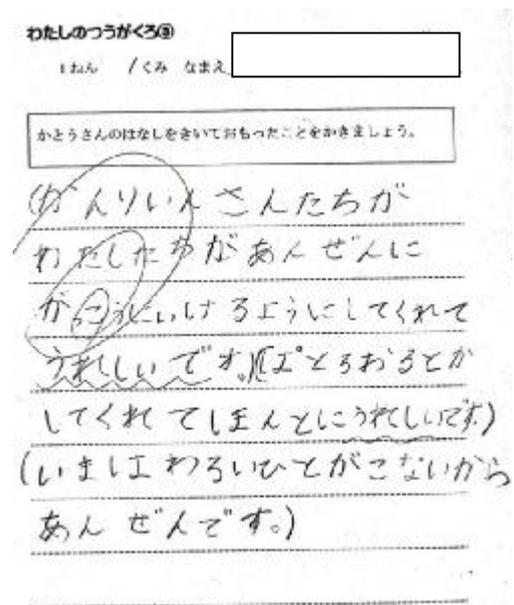
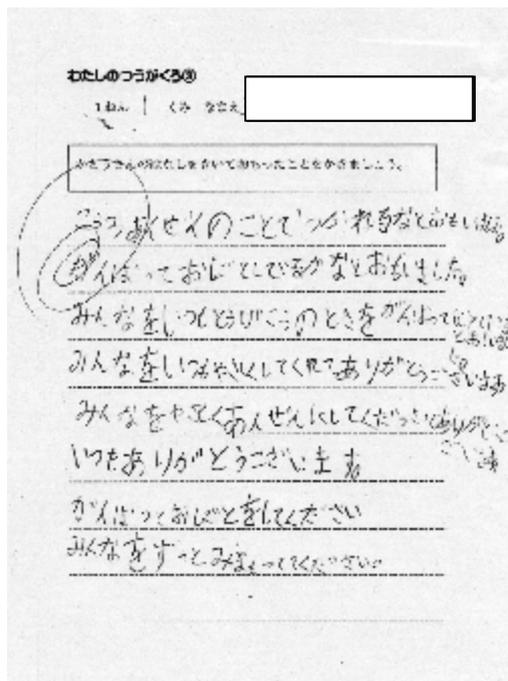
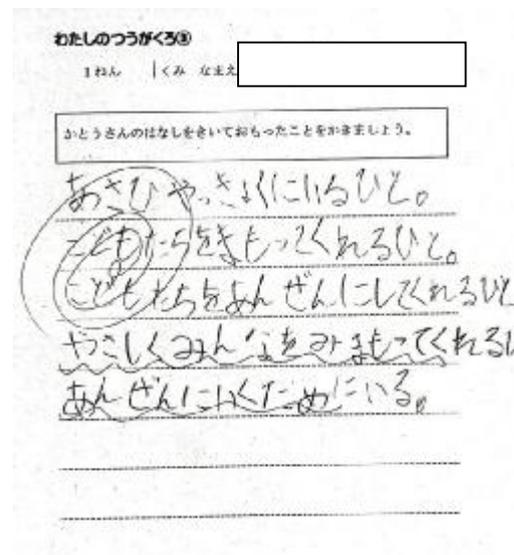
課題

- ・授業の中で、困り感を持った児童を具体的にどう支援していくか。
- ・グループの学び合いを活性化させるために、どんな手だてをとるか。
- ・子ども達に自信を持って発表をさせるためのステップ

<学習の様子>



・加藤さんの話を聞いて思った事を書いているところ



〈資料〉

授業の最初に提示した資料

～安全に関する表示～

- ・ 通学路探検をして前時にまとめた資料 →
子どもたちが通学路で見つけたもの

↓



- ← ・ 前時までに自分たちが見つけたものを
どんな役割があるか発表しているところ



- ・ ゲストティーチャー「加藤さん」の話を聞いているところ ↑